

## 第170回 教育研究評議会要録

日時 平成31年3月20日(水) 13時00分～16時15分  
場所 第一会議室  
出席者 今岡学長, 藤原理事, 小路田理事, 小川理事, 井深理事, 成瀬副学長, 三成副学長,  
吉村副学長, 野村文学部長, 林井理学部長, 黒子生活環境学部長, 高田人間文化研究科長,  
中山, 石崎, 春本, 上江洩, 久保, 松岡, 棚瀬, 三木各評議員  
列席者 酒居監事, 福田監事, 岩阪事務局次長/総務・企画課長, 桑原国際課長, 川村研究協力課長,  
西田財務課長, 清水施設企画課長, 鱸学務課長, 中窪学生生活課課長, 名賀入試課長

議事に先立ち, 前回の記録確認。

### I 審議事項

#### 1. 奈良教育大学との連携協議及び国立大学をめぐる現状について

学長から, 3月15日の全学説明会で多くの意見が出たので, 評議会での採決は先送りし, 各学部の教授会で再度説明を行い, 本学を取巻く状況を見ながら今後の進め方を考えたいとの説明があった。

#### 2. 奈良女子大学名誉教授称号授与について

学長から, 平成31年3月31日付けで任期満了退職する教授の名誉教授称号授与について, 学系会議の議に基づき資料1のとおり候補者の推薦があり, 部局長会議において名誉教授称号授与資格について確認した旨の報告の後, 所属学部長から功績調書により候補者の功績について説明があった。審議の結果, 候補者全員出席者の3分の2以上の賛成を得たため, これを承認した。なお, 資料は個人情報が含まれることから回収した。

[名誉教授称号授与者]

○名誉教授称号授与規程第2条に係る者

研究院(人文科学系) 教授	中島 道男	(平成31年4月1日付 称号授与)
研究院(自然科学系) 教授	加古 富志雄	(平成31年4月1日付 称号授与)
研究院(生活環境科学系)教授	佐野 敏行	(平成31年4月1日付 称号授与)
研究院(生活環境科学系)教授	三木 健寿	(平成31年4月1日付 称号授与)
研究院(生活環境科学系)教授	松岡 悦子	(平成31年4月1日付 称号授与)

#### 3. 学内諸規程等の制定について

##### (1) 国立大学法人奈良女子大学学則の一部改正について

人間文化研究科長から, 資料2により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会へ付議することとした。

##### (2) 国立大学法人奈良女子大学教授会規程の一部改正について

人間文化研究科長から, 資料3により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会へ付議することとした。

##### (3) 国立大学法人奈良女子大学理事の職務に関する規程の一部改正について

学長から, 資料4により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会へ付議することとした。

##### (4) 国立大学法人奈良女子大学監事監査規程の一部改正について

監査戦略室長から, 資料5により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会へ付議することとした。

- (5) 国立大学法人奈良女子大学出納事務取扱規則の一部改正について  
財務課長から、資料6により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、平成31年4月1日付けで施行することとした。
- (6) 国立大学法人奈良女子大学小口現金取扱要領の一部改正について  
財務課長から、資料7により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、平成31年4月1日付けで施行することとした。
- (7) 奈良女子大学寄宿舍規程の一部改正について  
学生生活課長から、資料8により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付けで施行することとした。
- (8) 奈良女子大学授業料免除及び徴収猶予選考基準の一部改正について  
学生生活課長から、資料9により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、平成31年4月1日付けで施行することとした。
- (9) 国立大学法人奈良女子大学職員給与規程の一部改正について  
総務・企画課長から、資料10により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (10) 国立大学法人奈良女子大学役員給与規程の一部改正について  
総務・企画課長から、資料11により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (11) 国立大学法人奈良女子大学における職員の初任給、昇格及び昇給等に関する細則の一部改正について  
総務・企画課長から、資料12により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (12) 国立大学法人奈良女子大学外国人教師の取扱要項の一部改正について  
総務・企画課長から、資料13により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (13) 国立大学法人奈良女子大学年俸制適用教員給与規程の一部改正について  
総務・企画課長から、資料14により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (14) 奈良女子大学年俸制適用教員の業績評価実施細則の一部改正について  
総務・企画課長から、資料15により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (15) 国立大学法人奈良女子大学職員の労働時間、休暇等に関する規程の一部改正について  
総務・企画課長から、資料16により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。
- (16) 国立大学法人奈良女子に勤務する非常勤職員（短時間勤務職員）の労働時間、休暇等に関する規程の一部改正について

総務・企画課長から、資料17により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。

(17) 国立大学法人奈良女子大学アルバイト職員取扱要項の一部改正について

総務・企画課長から、資料18により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。

(18) 国立大学法人奈良女子大学再雇用職員就業規則の一部改正について

総務・企画課長から、資料19により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。

(19) 奈良女子大学クロスアポイントメント制度に関する規程の一部改正について

総務・企画課長から、資料20により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。

(20) 国立大学法人奈良女子大学特任教員取扱規程の一部改正について

総務・企画課長から、資料21により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会で報告の上、役員会へ付議することとした。

4. 若手教員枠による雇用について

総務・企画課長から、資料22により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

5. 平成31年度計画(案)について

小路田理事から、資料23により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会へ付議することとした。

6. 平成31年度予算配分(案)について

学長から、資料24により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会へ付議することとした。

7. 平成32年4月設置の博士後期課程改組及び研究科名称変更について

人間文化研究科長から、資料25-1から25-3により改組計画内容及び名称変更内容について説明があり、審議の結果、これを承認し、経営協議会へ付議することとした。また、人間文化研究科長から、文科省からの指示により資料25-3の記載内容の体裁を変更し提出することになるとの説明があった。

8. 卓越大学院プログラムについて

小路田理事から、資料26により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

9. 福岡女子大学との包括交流協定の締結について

小路田理事から、資料27により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

10. 東紀寺職員宿舍の土地の有効活用について

施設企画課長から、資料28により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、経営協議会へ付議することとした。

- 1 1. その他  
特になし

## II 報告事項

1. 第239回役員会について  
学長から、第239回役員会の審議概要について、資料29により報告があった。
2. 国大協通常総会の報告について  
学長から、資料30により、3月14日の文科省との意見交換会において国立大学改革方針についての骨子イメージとして示された国立大学再編の方向性や既設学科から専門職学科への転換の概要について説明があった。
3. トランスジェンダー学生の受入について  
学長から、資料31によりワーキンググループの構成メンバー及び今後の進め方について説明があった。
4. 学科及び専攻の廃止について  
学務課長から、資料32により報告があった。
5. 平成30年度実績報告の記載方法について  
小路田理事から、資料33により実績報告記載の留意点の説明及び各部局での作成について協力依頼があった。
6. 国際学会等支援経費(仮称)について  
藤原理事から、資料34により、国際学会支援経費(仮称)を次年度新設することの報告があり、制度の詳細については現在検討中であるとの説明があった。また、学内研究支援制度一覧を作成し、教員に周知するとの説明があった。
7. 各学部・研究科規程の一部改正について  
各学部長及び人間文化研究科長から、資料35-1から35-5により、報告があった。学長から、次年度教養教育科目に新設する日本語科目の科目名が学部間で整合性がとれていないので学部長に対して確認するよう指示があった。
8. 奈良女子大学大学院人間文化研究科再チャレンジ型女性研究者支援制度に関する取扱要項の一部改正について  
人間文化研究科長から、資料36により報告があった。
9. 平成31年度学内役職者について  
学長から、資料37により報告があった。
10. 各室等からの報告について  
特になし
- 1 1. その他
  - (1) 井深理事から、卒業式・学位記授与式の開催案内及び出席依頼があった。
  - (2) 吉村副学長から、3月15日にニュージーランドクライストチャーチで発生した銃乱射事件について、海外研修で現地に滞在していた学生に被害はなく、全員無事帰国したことの報告があつ

た。

三成副学長から、奈良教育大学との連携協議に関する更新合意書（案）について、15日の全学説明会で出た意見を受けて文面を再検討する予定があるのかという質問があり、学長から、本学を取巻く状況が流動的であるので状況を見て判断するとの回答があった。また、三成副学長から、工学部設置に伴う配置転換を希望しない教員の所属先について質問があり、学長から定員削減の動向を見据えながら今後検討していくとの回答があった。

三成副学長から、法人統合については評議会ではほとんど審議されておらず、説明も十分受けていないので、財政面や人員削減の展望を学内構成員に説明いただきたい、工学部設置については当事者教員の意見を考慮し検討を進めるべきであり、全体説明会において強い懸念が多く出たので、設置規模等も含め根本的に再検討してほしい、附属学校についても重要な問題であるので更新合意書に入れてほしいとの意見があった。

棚瀬評議員から、学長の示す構想内容には教員定員管理のビジョンが見えないので学内から心配の声が上がっているのではないかと示してほしい、また政府が学部定員の削減、大学院機能重視の方向性を示しているにも関わらず、工学部設置構想に大学院が含まれていない点を危惧しており、学部定員を大学院へスライドし、大学院を拡充するくらいのことを考えてほしいとの意見があった。

学長から、3月末日をもって任期満了となる評議員の報告、退職及び転出する課長について報告があり、各人から挨拶があった。

以上